

# 湯沢エリア(新潟県)

## アクセス

湯沢の主要なスキー場へは、車利用の場合、関越自動車道「湯沢IC」を降りて直ぐ、また、鉄道利用の場合も、上越新幹線又は上越線「越後湯沢駅」から直ぐに行くことができます。更に、R17を群馬方面へ約15～20km向かうと、苗場山や筈山の裾野に広がる大規模スキー場へ行くことができます。

## 概要

新潟県湯沢町には、JR越後湯沢駅を中心とした湯沢温泉街近傍や国道17号線沿線に多くのスキー場があります。スキーシーズンになると、主に関東圏から多くのスキーヤー・スノーボーダーが訪れ、町全体が活気に溢れています。スキー場に訪れる人の多さは群を抜いており、まさに国内屈指のスノーリゾート地と言ってよいでしょう。



湯沢には世界最大級の166人乗りロープウェーや上越新幹線駅と直結しているゴンドラ、そして運行区間長が世界最長のゴンドラなど、単なるスキー場への輸送機関に留まらず特筆したくなるような乗り物が沢山あります。標高高く上がれば、そこはもちろん雪質・雪量バツグン。5月のGWの時期まで春スキーも楽しめます。

ゲレンデはとにかくバリエーション豊富で、多くのスキーヤー・スノーボーダーのニーズに十分応えることができます。標高の高いゲレンデ山頂付近では、周辺の山々の壮大な姿も展望でき、スケールの大きさを肌で感じながらスノーリゾートを満喫することができます。



標高の高いゲレンデでは雪量が十分なだけに、シーズン長きにわたってスノースポーツが楽しめます。山麓からゲレンデまでは輸送力十分なロープウェイやゴンドラが運んでくれます。



スキーシーズン中は湯沢の各所のスキー場において、週末に花火が上がります。また、勇壮、華やかな松明滑降といったイベントも数多く催されます。(写真左下は全国に先駆けて松明滑降が行われたスキー場です。)



ナイター営業も多くのスキー場で行われており、夜になると複数のスキー場の照明がきらびやかに夜景の中に浮かび上がります。(写真左下は全国に先駆けてナイター照明が設置されたスキー場です。)また、湯沢町では例年、沢山のキャンドルを使ってのお祭り(写真右下)、イベントなどが町のあちこちで催されています。

このように、湯沢では夜のお楽しみも満載。是非、泊まりがけで遊びに行ってみましょう。老舗の温泉宿も沢山あってご紹介しきれないくらいです。本当に、スキーリゾート地・温泉地としての歴史を感じさせる町です。





春スキーも終わりを告げる時期になると、高地でのトレッキングや高山植物観賞などのシーズンが始まります。通年運行されているロープウェーやゴンドラに乗ってリゾート地へ行ってみましましょう。(乗っている最中でも窓外の四季折々の風情を堪能することができます。)



湯沢の町並みのほか遠く谷川連峰などが望めます



コマクサ



ミズバショウの群生



ヒマラヤの青いケシ



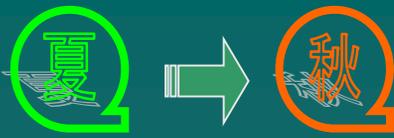
ヒメサユリ



夏にも運行するゴンドラ



高山植物園内の湿生園



ロープウェイで高地へ上がると、大自然のなかを散策できるコースが設定されています。山野草や野鳥との触れ合いを愉しみましょう。季節の花々とも各所で出会うことができます。



世界最大級の166人乗りロープウェイ



エーデルワイス



レンゲショウマ



対地上高が国内最高230mのロープウェイ

秋の紅葉の時期になると、ロープウェイやゴンドラに乗りながら窓外の風景を愉しむことができます。



運行区間長が世界最長5.5kmのゴンドラ



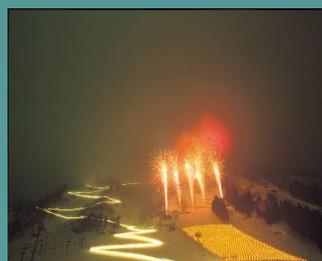
世界最大級の166人乗りロープウェイ

# その他の情報

○ 湯沢は温泉地だけあって町内の随所に町営共同浴場や立寄り湯が点在しています。また、JR駅の周辺には気軽に立ち寄れる足湯もあります。スポーツの後の疲れを癒すにはもってこいですね。



○ JR駅の近くには、歴史民俗資料館があり、湯沢の歴史・カルチャーをかいま見ることが出来るほか、JR駅舎内にあるお酒を集めた資料館では、新潟のすべての蔵元の代表銘柄の試飲が出来ます。気に入ったお酒がありましたらお土産にどうぞ。



リンク

北陸信越山岳観光索道協会

雪国観光圏

にいがた観光ナビ

湯沢町観光協会